全酪連会報2

2018 FEB No.629



若手後継者の本音池松大地さん

酪農トピックス

「第45回鹿児島県酪農青壮年女性 親善スポーツ大会」開催される (福岡支所発)ほか

人事異動

日本酪農見て歩紀 越野牧場 石川県珠洲市



衝として注目を浴びる筑後小郡インターチェンジ のある地域です。 き園芸などの農業が盛んで、また北部九州の交通要 北に流れる宝満川を活かし、稲作を中心に畜産・花 今回訪問した池松牧場のある福岡県小郡市は、南

囲まれたなかで、搾乳牛37頭、子牛・育成牛18頭を飼 かな自然と小郡官衙遺跡や七夕神社などの史跡に 育する酪農を営んでいます。 池松牧場は、花立山・城山公園など四季折々の豊

乳牛改良にも熱心に取り組んでおられます。 おいて池松牧場は、1区、2区で受賞を果たすなど また、今年11月に開催された福岡県乳牛共進会に

繁殖管理、堆肥処理を担い、祖父の幸男さんと祖母の となり、圃場管理から牛舎管理、搾乳、飼養管理全般 さん)、父母(厚博さん、貴美子さん)、と弟さんとの6 人家族です。作業は父の厚博さんと大地さんが中心 家族構成は大地さんと祖父母(幸男さん、イン汀

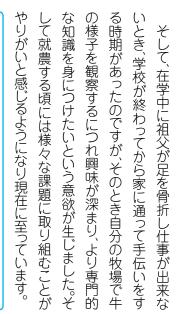
> 生乳出荷戸数208戸(平 形文清代表理事組合長)は、 するなど分担しています。 管理と会計管理を主に担当 母の貴美子さんは、育成牛の おか県酪農業協同組合(尾 イソ江さんがこれを補佐し、 池松牧場が所属するふく



成29年10月時点)、年間生乳生産量は77,991t (平成28年度実績)となっています。

就農までの経緯を教えてください

ことに対しはじめは少し後ろ向きな気持ちもあった がいに気づきはじめました。 ろんな言葉をかけられるなかで、酪農に対するやり ら、絶対なにかしらでかえってくるんだよ」など、い 日収入があるってことだぞ」とか「牛に愛情をかけた のですが、実習先の社長や息子さんに「酪農は毎日 の現場での技術を一通り学びました。実は、跡を継ぐ も搾乳、餌やりなどの牛舎の仕事から機械操作など などの専門分野や畜産経営について勉強し、実習で と考え、農業大学校に進学し飼養管理から栄養管理 から牛に触れ、小学校から家の手伝いをしていまし が仕事で大変だけど、毎日仕事があるってことは、毎 た。高校を卒業する頃には自分が跡を継がなければ もともと4代続く酪農家に生まれた私は、幼い頃



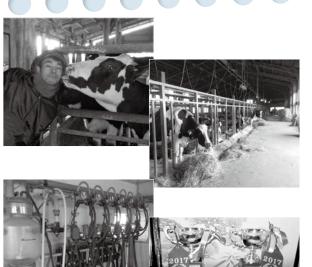
就農してやりがいを感じていることを教えてください

ことは大きなやりがいです。大変ですが、様々な工夫 作業できるのかなどやればやるだけ様々な課題が ことはとてもやりがいのあることです。老朽化が進 方も自分次第であることに面白さを感じています。 頭に浮かんできますが、それを考えながら取り組む む施設の改善や、腰の悪い祖父母がどうしたら楽に をしながら、やればやるだけ結果が出るし、工夫の仕 ん見えてきます。そしてそれをひとつずつ実践する 牛の立場に立って考えると見えないことがたくさ

就農して苦労したことはありますか?

そうした廃用を出さずに凌ぐことが出来ました。 況になったのですが、夜中まで水まきをしたり、個 の仲間でも何頭も廃用を出さざるえないような状 体別に出来るケアを可能な限りしたことで、この間 ここ2年はこの地域も酷い猛暑に見舞われ、周囲 しかし、体細胞対策だけはなかなかうまくいか





[経営概況]

所 属 ふくおか県酪農業協同組合(尾形文清代表理事組合長)

家族構成 大地さん、両親、祖父母、弟

搾乳牛37頭、育成牛18頭(子牛含む)

大地の

の目標です。 共進会に出品できるような牛を育てあげるのが今 乳牛共進会でも出品し入賞するなど、大きな自信と 連産できるような牛を育て、2020年の全国乳牛 なりました。これからも調教を頑張り、いずれは長命 事がたくさんありますが、先日開催された福岡県の 改良協議会に入り1年目で、まだまだ分からない

業に取り組みたいと思っています。子供から大人まで、 が、私はこれをチャンスだと思い、観光牧場や6次産 移動も渋滞で不自由となるなど課題も多いのです 牛舎の前が主要な道路になる計画もあります。牛に 拡張により交通量が多くなっています。数年後には とってはストレスのかかる環境となったり、圃場からの ながら、経営を改善していきたいと思っています。 そして、やはり目の前の課題をひとつずつ解決し また、我が家の周りは新しい住宅の建設や、道路の

とを話し合ったりしながらいろいろなことを試し のアドバイスを聞いたり、家族同士で気がついたこ ず、今でも試行錯誤を繰り返しています。色々な人 ます。でも、これを解決すれば経営にも良い影響が たりしていますが、なかなか結果が出ず苦労してい 大きく出るはずだと考え取り組んでいます。

今後の目標についてお聞かせください

られ、いろいろ勉強させていただいています。(笑) や6次産業の事を見聞きし、夜には先輩たちに連れ 研修では先進牧場に出向き牛舎の設備や飼育方法 活動内容は除角、講習会、視察研修などですが、視察 酪農青年部に所属し、3年目となりました。おもな

すぐで、特に生み育てて みたいという大地さん くれた両親や祖父母を の眼差しはとてもまっ

場をさらに発展してい も大きく広がる大地に 祖代々続くこの池松牧 しっかり根を下ろし、先 も印象的でした。今後 の感謝の言葉を強く表 す大地さんの姿はとて

販売し、近所の人にも憩いの場として、立ち寄ってもら えるような場所に出来ればいいなと思っています。 牛に触れ合えるような環境を作りソフトクリームを 就農に迷われている方へ一 言お願いします!

きます。 み、大地に根ざした酪農経営を目指して頑張って く膨らんでいます。今の仕事に責任をもって取り組 5代目としてはまだまだ未熟ですが、夢は大き

う、しっかりと頑張っていきたいです。 いと思います。そうした恩に報いることができるよ 酪農が出来ていることにこの場を借りて感謝した そして、何より多くの方に色々な事を教えて頂き

が出来るよう、もっともっと前向きに酪農に取り組 はじめ様々な人たちへ 様々な出会いがもたらしてくれた恩に報いること 全国の若手後継者の皆さん

同業者のみならずいろんな 人との出会いを大事に

をお祈りいたします。 けるよう益々のご活躍



▲ 越野聡さん

今の時期は市内の水田に、白鳥が多 酒の「宗玄」が名物としてあります。 島などがあり、塩田で採れた塩や地 台として出てくる揚げ浜塩田や見附 NHK連続テレビ小説「まれ」 の舞



▲ 水田に飛来する白鳥



▲ 牛舎前景

地域の紹介

海に面した能登半島の先端に位置し 県珠洲市は人口1万4千人で、日本 ています。周辺の観光地としては、

今回訪問した越野牧場がある石川

ます。 く飛来している光景を見る事ができ

協同組合(林友次代表理事組合長) となっております。 量約 20,317 t は生乳出荷戸数48戸、年間生乳生産 越野牧場の所属する石川県酪農業 (平成28年度

石川県珠洲市

牧場の沿革

れ 父親から経営継承されております。 きっかけに、 りましたが、 習を経て実家に戻られました。 山県の中国四国酪農大学校に進学さ 聡さんは、 牛舎を建てておられ現在に至ります。 歳の時に、 養されていたそうです。聡さんが5 始められ、 会社勤めをされている時期もあ 卒業後は岡山県の酪農家での実)野牧場は父親の代から酪農業を 地元の高校を卒業後、 現在の場所に40頭つなぎ 実家の敷地内で12頭を飼 牧場に戻り36歳の時に 30歳で結婚された事を 岡



越野牧場の経営について

畑で作業されておられます。 の管理がある時期は、 牛舎内の作業を行っています。 21:30まで、 内 3 26 無脂乳固形分8.76%、 年度の年間生乳生産量は約258 10:30まで、 t 未経産及び育成牛18頭です。平成28 で、 %です。 の作業ですが、 産以上となっております。 越 飼養頭数の内訳は、経産牛32頭 野牧場は対頭式のつなぎ牛舎 乳成分は、 経産牛の平均産次数は、 午後の作業は16 搾乳や子牛への哺乳 午前中は 5:00 乳脂肪 4:05 昼間の時間も 乳蛋白3 00 牛舎 草地

自給粗飼料につい 7

繁殖管理について

授精師の免許を持っている聡さん 牛舎に居る間は発情発見等の

堆肥は、 おり、 おり、 ち借地12 る近隣 を入れておられます。 アルライグラスの混播を9ha アン 10 ha、 しており自給粗飼料の生産にも力 給粗飼料の作付面積は19 ha ほぼ全量を草地に還元されて (i) 草地の肥料として活用して 部 ha 農家にも供給しているそ オーチャードと、ペレニ は堆肥を必要としてい です。 作目は、 牛舎から出る イタリ 作付 **う**

行い、

乳量やBCSに応じて配合飼

の職員とBCSや繁殖状況の確認を

ます。また、

定期的に組合や全酪連

切なタイミングで種付けを行ってい 察に多くの時間を割かれており、

滴 観

にホルスタインの精液を付けるなど

個体管理も行っており、高い受胎率 料の給与量を調整するなど、細かい

を維持されています。経産牛の9割



1

を付けられており、

最近の子牛

れます。また、残りの1割に和牛(F 牛の気質に着目し改良を行っておら 択では、牛群の乳生産の向上と、 行っております。受精する精液の選 後継牛の確保にも力を入れており、

の更新は殆どを自家育成牛で

▲ 自給粗飼料のサイレ

事でした。

乳質管理について

収入も経営の助けになっているとの 価格の高値もあり、個体販売による

に気を使っておられ、

聡さんは体細胞数などの乳質に特 牛床の敷料は



▲ 牛舎内で横臥する牛

朝・晩2回変え、除糞作業も作業の

え収益の向上につなげられています。 を科されないことで不要な出費を抑 により乳質をが向上し、乳質格差金 す。このような乳質改善の取り組み スをなるべく抑えるため牛舎への人 ております。また、 合間に行い牛床を常に清潔に保たれ '出入りを最小限にしているそうで 牛群へのストレ

組合・ 地域活動



聡さんは、 県内でも後継者の

ない酪農家は高齢化も進んでおり、

クでのツーリングに出かける事が良 パーを活用して時間を作り、 と考えておられ、 理を継続する中で、 た事があるそうで、今後は東北方面 これまで、 日で奥様との共通の趣味であるバイ い気分転換になっているそうです。 しそうに語っておられました。 聡さんは毎日の酪農経営・牛群管 年に数回酪農ヘル 休む事も大切だ 1 泊 2

組合、 持ってもらえるような活動にも参加 流をしながら酪農業に興味や理解を を通して、 積極的に参加できていなかったそう 祭などの牛乳消費拡大のイベントに なってしまうのではと懸念されて このままでは酪農家戸数が少なく していきたいそうです。 ですが、 います。 関係団体が実施している農業 今後は自らそのような機会 今までは、 積極的に消費者と直接交 地元農協や酪農

充実した日々を過ごすために

、もツーリングに行ってみたいと楽 また、 聡さんは酪農を続けてい 遠くは岡山県まで行かれ



▲ 牛舎内風景

だきました。 ことだと幸せそうにお話していた 理でバランスの良い食事ができる

今後の展望

りの個体乳量を高めていきたいそう です。これを達成するため今後は酪 より生じている生乳生産量の増減 るため個体管理や牛群改良に取り組 今まで以上に繁殖成績を向上させ 現状の乳質を保ちながら季節に 年間通して安定させ、 1頭当た

法は、

愛情たっぷりの奥様の手料

掛けているそうです。

一番の健康

規則正しい健康的な生活習慣を心

くために、

飲酒・喫煙をせずに、

農組合、 期の飼養管理改善に取り組み、 生産量の増加を目指したいとのこと 全酪連と分娩前後の移行 生乳

きればと考えておられます。 共にしながら徐々に経営移譲をで 持っている若者に働きかけ、 県の担い手育成事業、県立大学など 討されています。酪農組合や、 を第三者へ経営移譲できればと検 教育機関を通じて、酪農に興味を また、後継者について、将来牧場 作業を

おわりに

かし、 した。 くる事ができた」と伺う事ができま があって、これまで酪農を継続して 予定通りいかない事もあります、 寒波で大雪になりました。 によっては集乳や飼料の配送など 石川県の冬は雪も多く、 「酪農組合や関係機関の支え 道路状況 年明けも

農の発展を願ってやみません。 られました。 農をがんばっていきたいと話してお 後は生産量向上を目指し、日々の酪 酪農を続けてこられたそうです。 う仕事にも理解があるため、 また、奥様は動物好きで酪農とい 越野牧場と石川県の酪 今まで

名古屋 支所発

「三重県酪農女性会議研修会」開催

11月27日側に松阪農業公園ベルファームにおい て、三重県酪農女性会議(堀山静代委員長)の平成 29年度研修会が開催されました。参加者は13名で、 昼食会、松坂牛肉味噌作り体験、ティータイムという 流れで行われました。

昼食会とティータイムは「ガーデンカフェ ルーベ ル」という公園内にある施設で行われました。ランチ は、ベルファーム農家市場のとれたて新鮮野菜や松坂 牛、デザートには三重県産の牛乳を使ったジェラート など、参加者はひと時の間料理を味わいながら日々の 仕事から離れ歓談していました。

「松阪牛肉味噌作り」体験では、3班に分かれてコ ツなどを聞きながら楽しそうに体験を行っていまし た。肉味噌作りで重要な肉味噌を鍋で煮て練り上げる 工程では、火加減に注意しながら真剣に取り組んでい ました。体験の終盤に講師より、同じ材料を使用して も味が少しずつ違うということを聞き、お互い味見を している様子が見られました。

短い時間でしたが、楽しく終始和やかな研修会で (U.Y) した。



名古屋 支所発

愛知県酪農協青年女性部「ソフトバレー大会 開催

11月30日休、愛知県酪農協青年女性部(岩田周 部長)のソフトバレー大会が開催されました。

会場の愛知県畜産総合センター「ふれあいドーム」 には約30名の部会員が集まりました。

ソフトバレーは5~6人制で、選手は3チームに 分かれて、2セット先取の総当たり戦で競い合いま した。

試合は、各チームで最終セットまでもつれ込む白熱 した試合が繰り広げられ、選手の皆さんは、お互いに 声を掛け合いながら和気あいあいと試合を行っていま した。

試合終了後には、女性の皆さんが持ち寄った料理を 囲んでの昼食会やコサージュ作りを行い、交流を深め ました。 (U.Y)



「第45回鹿児島県酪農青壮年女性親善スポーツ大会」 支所発 開催される

平成29年12月16日出鹿児島県酪農青壮年女性 会議(小薗千弘委員長)による第45回鹿児島県酪農 青壮年女性親善スポーツ大会が、国分スターレーンに て開催されました。

例年よりも早い冷え込みが訪れるなかでの開催とな りましたが、会場内は酪農家及び関係者約126名の 熱気に包まれる大会となりました。まず、同会議事務 局長でもある鹿児島県酪農協の里指導購買部長による 開会宣言、小薗委員長による主催者挨拶、そして前年 チャンピオンの優勝旗返還の後、一斉に競技が開始さ

れました。今回の参加者も家族連れが多く、競技はも ちろん参加者同士での近況報告も活発に交わされるな ど、会場は大いに盛り上がりました。本大会では、出 水・川薩チームが団体優勝を収めました。

そして、大会後の懇親会では、子供たちによるプレ ゼント抽選会や全員参加のじゃんけん大会などが行わ れ、カタログギフトや電化製品等の豪華景品を贈呈され た参加者からは笑顔が絶えませんでした。また、最後に 鹿児島県酪農協橋口組合長から挨拶があり、新原副委 員長の閉会挨拶で大会は幕を閉じました。 (G.K)



-緒に記念撮影

▲ 優勝チームと小薗委員長(左)

福 岡 支所発

『頑張るぞ九州酪農!九州からがばい旋風で 「ゆとり」と夢のある楽農を目指そう!』 九州酪農青年女性会議「平成29年度指導者研修会」を開催!

1月16日(火)、佐賀県唐津市の唐津ロイヤルホテルにおいて、九州酪農青年女性会議(小薗千弘委員長)主催の「平成29年度指導者研修会」が開催されました。

九州北部豪雨をはじめとして、昨年も様々な災害に見舞われた九州ですが、九州の酪農は負けない!これからもがんばっていこう!という思いで、『頑張るぞ九州酪農!九州からがばい旋風で「ゆとり」と夢のある楽農を目指そう!』というスローガンのもと、九州・沖縄各県から約100名の酪友が集結しました。

開会式では、九州酪農青年女性会議、小薗千弘委員 長の主催者挨拶の後、佐賀県農林水産部畜産課長の田 代浩幸様、そして佐賀県農業協同組合、常務理事の松 尾芳磨様よりご祝辞が披露されました。

今回の研修会は、一般財団法人畜産環境整備機構の原田英男副理事長を講師にお招きし、「酪農情勢の変化と酪農経営の戦略について」と題し、戸数減や後継牛不足が続く酪農情勢に、改正畜安法の施行や、日欧EPAといった更なる環境変化が進むことにより、国

内の牛乳・乳製品の消費動向や生産者の手取乳価に至るまでに及ぶ様々な影響についての説明がありました。これに対し生産者が畜産クラスター事業や楽酪事業などの積極的な活用や、自給飼料やTMRの利用、そして生乳販売においても収入保険などの新しい制度に対し、しっかり見極めて取り組み、酪農経営を続けていくべきなど、原田講師の経験を踏まえたご講演をいただきました。

講演後には意見交換会が行われ、参加者から「国の対策で生乳運賃の軽減措置の可能性は?」「全国でプールされる乳価になる余地は?」「5年後の酪農は?」などの積極的なご質問と、それに対して原田講師からのご回答を頂くことができました。

また、研修会後の交流会では、佐賀県農業協同組合、畜産部畜産総合センター前田英二所長による歓迎の挨拶と乾杯に始まり、地元佐賀県の「多久ちんどん芸能隊」によるアトラクションで会場は盛り上がり、続いてのカラオケ大会でも多くの酪友たちから美声が披露され、大いに親睦が深められました。 (M.Y)



平成 30 年

「各地域酪農青年女性会議 酪農発表大会」 開催のご案内

発表大会	開催日	開催場所
第46回 北海道酪農青年女性会議酪農発表大会	3月27日(火)	北海道「京王ブラザホテル札幌」 〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西7丁目2-1 TEL:011-271-0111
第47回 東北酪農青年女性会議酪農発表大会	3月19日(月)~ 20日(火)	福島県「八幡屋」 〒963-7831 福島県石川郡石川町大字母畑字樋田75-1 TEL:0247-26-3131
第47回 関東甲信越酪農青年女性会議酪農発表大会	3月22日(木)~ 23日(金)	新潟県「ANAクラウンプラザホテル新潟」 〒950-8531 新潟県新潟市中央区万代5-11-20 TEL:025-245-3334
第47回 中部酪農青年女性酪農発表大会	3月15日(木)~ 16日(金)	静岡県「浜名湖ロイヤルホテル」 〒431-0101 静岡県浜松市西区雄踏町山崎4396-1 TEL:053-592-2222
第49回 西日本酪農青年女性会議酪農発表大会	4月19日(木)~ 20日(金)	大阪府「アートホテル大阪ベイタワー」 〒552-0007 大阪府大阪市港区弁天1-2-1 TEL:06-7652-1374
第47回 九州酪農青年女性酪農発表大会	4月18日(水)~ 19日(木)	大分県「レンブラントホテル大分」 〒870-0816 大分県大分市田室町9-20 TEL:097-545-1040

お申込み・お問い合わせは、最寄りの全酪連支所まで

- 2018・ワークショップ 2018 開催のこ

全酪連は、2018年2月にイリノイ大学畜産学部助教授 フィル・カルドーソ博士を招聘し、全国6会場にて、全酪 連酪農セミナー (平成29年度) を開催いたします。講師の カルドーソ博士は、イリノイ大学で乳牛栄養学分野の研究 を行う一方、酪農現場への技術普及に対しても精力的に活 動している研究者です。今回のセミナーでは、繁殖成績改 善に主眼を置いた移行期牛の管理についての最新情報を、 暑熱ストレスの影響なども踏まえた幅広い視点から紹介す る内容を予定しています。また、セミナーとは別に研究 者・指導者の皆様に向けた最先端情報を発信するワーク ショップも開催致します。是非ご参加下さい。

フィル・C・カルドーソ博士 イリノイ大学 畜産学部助教授

[研究領域]

- ・栄養と代謝性疾患、繁殖、移行期および生産性の関連
- ・乳牛の移行期栄養と脂質代謝、インスリン感受性に関する研究
- ・繁殖成績を最適化するための移行期栄養戦略 ・アミノ酸給与が繁殖に及ぼす影響

[経歴]

ブラジル リオ・グランデ大学獣医学科 卒業 2001年

獣医師免許取得

2007年 反芻動物臨床および生化学修士号取得 2007-2009年 ブラジル サンパウロ大学にて研究員 2012年 イリノイ大学畜産学部 栄養学博士号取得 2012年-現在 イリノイ大学畜産学部 助教授

開催日時と場所 ※各会場とも開会は 10:00、閉会は 16:00 の予定です。

2	月 7	日砂	熊本セミナー	グランメッセ熊本
2	月 9	日會	名古屋セミナー	ミッドランドホール
2	月 13	3日@	岡山セミナー	岡山国際交流センター
2	月 15	日旬	帯広セミナー	北海道ホテル
2	月 16	6日@	帯広ワークショップ	北海道ホテル
2	月 19	日日	仙台セミナー	江陽グランドホテル
2	月 20		東京セミナー	ランドマークスクエアトーキョー

参加費

1名様 ¥5,000 (テキスト・昼食代含む)

対象 酪農家・組合役職員・公的指導機関、 あるいは研究者・獣医師・コンサルタントの方々

お申し込み・お問い合わせは、最寄の全酪連支所まで

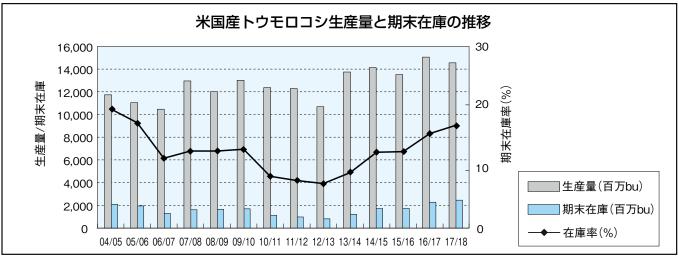




	新			旧		氏	名	
■平成30年		ī						
総務部	人事室 課長		札幌支所	次長 兼 総務課長 兼 指導組織課長	坂	口	雅	史
購買生産指導部	購買推進課長		仙台支所	購買畜産課長	東	健	太	郎
購買生産指導部	酪農技術研究所長 兼 畜産課若齢預託	矢吹牧場長	総務部	人事室 課長	稲	澤		創
酪農部	副部長		狭山工場長		大	木	高	明
酪農部	乳製品工場課長代理		狭山工場	製造課長	野	﨑		哲
酪農部	生乳共販課 (職位分	定年)	北福岡工場長		木	元		守
酪農部	乳食品課 (職位分	定年)	購買生産指導部付出向	全国酪農飼料㈱(北海道支店長)	小	林		明
札幌支所	総務課長 兼 指導組織課長		購買生産指導部付出向	全国酪農飼料㈱(釧路工場 総務課長)	南	部	史	彦
仙台支所	次長 兼 購買畜産課長		東京支所	次長 兼 購買畜産課長	蒲	田	泰	介
東京支所	購買畜産課長		福岡支所	購買推進課長	渡	邉	和	典
東京支所	購買畜産課長代理		購買生産指導部付出向	(株)ゼン・トレーディング(営業部長代理)	岩	崎	正	孝
大阪支所	次長 兼 酪農課長		酪農部	生乳共販課長	髙	橋	信	-
大阪支所	購買畜産課長		購買生産指導部	飼料製造課長代理	下	井	泰	隆
福岡支所	次長 兼 購買推進課長		購買生産指導部	購買推進課長	鈴	木 有	有希	津
北福岡工場長			酪農部	副部長 兼 乳製品工場課長	岡	本	尚	之
狭山工場長			大阪支所	次長 兼 酪農課長	津	田	知	亮
狭山工場	品質管理課長代理		狭山工場	製造課長代理	槇	Ţ	英	紀
狭山工場	製造課長		狭山工場	品質管理課長	松	嵜		進
購買生産指導部付出向	全国酪農飼料(株)(北海道支店長 兼 釧	路工場長)	購買生産指導部付出向	全国酪農飼料(株)(釧路工場長)	中	田	秀	明
購買生産指導部付出向	全国酪農飼料㈱(釧路工場 次長 兼 編	総務課長)	購買生産指導部	酪農技術研究所長代理	直	井	順	_
■平成30年2	2月1日付兼務(兼務解職)・職位2	定年発令						
購買生産指導部	尽長		購買生産指導部	昂長 兼 分析センター長	岡	田	征	雄
購買生産指導部	酪農技術研究所 (職位分	定年)	購買生産指導部	酪農技術研究所長 兼 畜産課若齢預託矢吹牧場長	山			巡
酪農部長 兼 生	乳共販課長 兼 乳製品工場課長		酪農部長		戸	辺	誠	司
札幌支所	次長 兼 購買推進課長 兼 釧路事務所	所長	札幌支所	次長 兼 購買推進課長 兼 釧路事務所長 兼 道北事務所長	矢		正	史
名古屋支所	総務課長		名古屋支所	総務課長 兼 指導組織課長	山	田	和	伸
名古屋支所	支所長 兼 酪農課長 兼 指導組織課長	홋	名古屋支所	支所長 兼 酪農課長	白	鳥	建	樹
大阪支所	次長		大阪支所	次長 兼 購買畜産課長 兼 三次駐在員事務所長	河	野		巧
狭山工場	次長 兼 総務課長 兼 品質管理課長		狭山工場	次長 兼 総務課長	金	野		涉
■平成30年	2月1日付昇進発令							
購買生産指導部	分析センター長		購買生産指導部	分析センター長代理	上	原		真
購買生産指導部	副部長 兼 畜産課長		購買生産指導部	畜産課長	鳥	Ш	順	史
札幌支所	道北事務所長		札幌支所	道北事務所長代理	末	石	光	弘
大阪支所	三次駐在員事務所長		大阪支所	三次駐在員事務所長代理	牛	島	隆	_
福岡支所	次長 兼 畜産課長		福岡支所	畜産課長	合	原	博	俊



1月12日発表 米国農務省	【16/17年産】 作付面積94.0百万エーカー、単収174.6bu/エーカー、生産量151億4,800万bu、総需要量146億4,900万bu、期末在庫22億9,300万bu、在庫率15.7% 需要面で増加し、期末在庫は減少。
トウモロコシ 需給予想	【17/18年産】 作付面積90.2百万エーカー、単収176.6bu/エーカー、生産量146億400万bu、総需要量144億7,000万bu、期末在庫24億7,700万bu、在庫率17.1% 供給面は増加し、需要面は減少し、期末在庫は増加。
トウモロコシ 相場動向	収穫面積は減少したが、単収は上方修正されたため、前月よりも生産量は増加。単収は史上最高となり、生産量は史上2番目となる。また需要面では飼料向けが下方修正され期末在庫も前月より増加。期末在庫は市場予想を上回ったが、前日比▲2¢程度と下値の堅い展開。
1月12日発表 米国農務省 大豆需給予想	【17/18年産】 作付面積90.1百万エーカー、単収49.1bu/エーカー、生産量43億9,200万bu 、総需要量42億4,800万bu、期末在庫4億7,000万bu、在庫率11.1% 需給両面で減少し、期末在庫は増加。
大豆粕相場動向	米国産は、市場予想に近いものとなったが、単収、生産量が下方修正される内容 (需要も減少)。当日相場は供給面が減少するサプライズを受けて買いが進み、前日比+3-1/2¢の944¢ (1月限)で当日の取引終了。国内産は、需給は適正で推移している。輸入品の中心は中国産が中心であるが、旧正月需要が堅調で価格が高値で推移しており、一部南米産 (アルゼンチン等)、インド産など他産地の輸入が見られる。為替は円高基調であるが、相場が堅調であり、前期対比で横ばいで推移している。
糟糠類	【一般フスマ】 小麦粉の値上げによる仮需が予想されたが、比較的落ち着いた動きとなり、フスマの発生量も抑えられた。 しかし需要も予想されたものよりは抑えられた形となったため、需給がひっ迫する危機的状況は回避された。年明け以降も 需給は引き締まりながらも、均衡を保ち推移している。
10 作成大只	【グルテンフィード】 季節的な要因によるスターチ、異性化糖の 需要減少から発生量は減少傾向。天候不順による内航船の遅延が見られ、北海道などメーカーからの遠隔地では需給がタイトな状況が続く。輸入品は中心となっている中国では、旧正月を前にした需要が旺盛で価格は高騰しているが、一部日本にも輸入が行われている。夏に向けて、メーカー稼働の本格化が待たれる状況。
海上運賃	パナマックス型市況は横ばいで推移している。引き続き石炭中心に引き合いが散見されながらも、頭打ち感が出ており、値動きの乏しい展開。







輸入粗飼料の情勢 平成30年1月

北米コンテナ船フレート	1月のGRI(海上運賃一斉値上げ)は多くの船社が回避しています。2月1日付でのGRIの通知を出しているところもありますが、当面値上げは実施しないことを表明している船社も出てきています。今後、各船社は経営状況を勘案しながら、取扱貨物や積み出し港により、運賃の値上げの必要性を判断していくものと思われます。引き続き各船社の動向には注視が必要です。
ビートパルプ	【米国産】今年度産のビートパルプの生産量は一部地域で想定以上に単収が落ちたことにより下方修正されています。日本向けの供給量には影響はありませんが、生産減の影響が全体の需給を引き締める結果となり、産地在庫はほぼ契約済みとなっているようです。 新穀の作付けはアイダホ州やミシガン州などの早い地域で3月末、日本向け主産地であるミネソタ州やノースダコタ州では4月中旬頃からスタートします。作付面積については現在のところ、大きな変動をもたらす要因は見当たりません。
	【ワシントン州】産地在庫については、輸出向けおよび米国内酪農家から高成分の上級品に対する需要が引き続き堅調であり、これらの品質についてはほぼ成約済みとなっています。中〜低級品については、一部の生産農家では在庫を抱えているようです。産地価格に大きな変化はなく堅調に推移しています。また、現地では降雪が多い時期に入ってきており、原料の搬入や港までの輸送などに遅延が起こりやすくなっています。
アルファルファ	【オレゴン州】南部クラマスフォールズ、中部クリスマスバレーの両地区とも前月から産地情勢に大きな変化はありません。 高成分の上級品に対する米国内酪農家からの引き合いは引き続き強く、産地価格は高値のまま堅調に推移しています。
	【カリフォルニア州】南部インペリアルバレーでは12月上旬で17年産の生産が終了し、2月中旬頃から始まる新穀の収穫準備が進んでいます。17年産は総じて、例年に比べ高成分の上級品の発生は少なく中級品以下が多い傾向となりました。中国向けの需要については、産地価格の上昇と乳価の下落によりやや低調ではあるものの、中東及び米国内酪農家からの需要は旺盛です。産地相場は9月に一旦軟化しかけたものの、10月以降は強含んだままで推移しています。米国内需要は酪農家からだけでなく、肥育農家からの引き合いも旺盛なことから、産地在庫は上級品から低級品まで例年よりも少ない状況となっております。
チモシー	【米国産】米国産チモシーの需要は日本および韓国から旺盛な状況が続いています。このため、産地相場は強含んだまま堅調に推移しています。産地在庫は一部の低級品には余裕があるようですが、上級品は限定的と言われています。 18年産については、産地相場の高騰を背景に、作付面積は増加することが予想されています。播種時期の秋期以降の天候・気候は例年並みであり、これまでのところ新穀の生育への不安点はありません。
	【カナダ産】17年産は収穫期の天候に恵まれたことから、南部レスブリッジ地区および中部クレモナ地区のどちらの地区においても発生量の半数以上が上級品の発生となりました。 良好な作柄と米国産チモシーの価格高騰により相対的に割安であることから、日本および韓国からの引き合いは非常に強く、 産地在庫はほぼ成約済の状況となっております。
スーダングラス	今年度のスーダングラスの生産は終了しており、産地在庫は一部の低級品を除きほぼ成約済みのようです。産地価格は米国産チモシーの高騰の影響を受け、当初予想よりも上げ幅が大きくなりました。特に色抜けのプレミアム品の上げ幅大きく、低級品との価格差が例年よりも広がった年となっています。 日本のスーダングラス輸入量は2017年1~11月で前年比103%となっています。米国産チモシーの高騰や天候に恵まれた収穫期前半に比較的良品が多く収穫されたことによるものと考えられます。年間の累計でも5年ぶりに前年数量を超えることが予想されますが、豪州産オーツの新穀の価格・品質によって需要が変動する可能性はあります。
クレイングラス	クレインは全略連の登録商標です。17年産の生産量は作付面積の減少の影響で前年に比べ25-30%減少したと推測されています。生産量の減少により、ほとんどの良品は既に成約済となっており、品質がやや劣るものについても韓国向け中心に出荷は順調で、産地在庫はほぼ残っていない状況です。 一方で、17年産の価格が生産農家にとって魅力的であったことや依然として堅調な引き合いを背景に12月時点の作付面積は前年同期比で27%増加しており、18年産の作付面積は16年産並みに回復する公算が強くなっています。
ストロー類	17年産については、作付面積、単収が減少していることから生産量は少なく、繰越在庫も非常に限定的だったことから、多くの生産農家が売り時を探って未だに在庫を抱えている状況です。年明けから徐々に商いが広がっているようですが、今後も注意深く情報を収集する必要がありそうです。また、ストロー類の輸入量が多い韓国からの需要は依然として旺盛な状況が続いています。このような状況から、産地相場は引き続き上昇を続けています。今後は韓国の需要動向と豪州産ストローの作柄や価格によって需給バランスに変化があるか注目されるところです。
オーツヘイ	西豪州の収穫はほぼ終了しています。収穫期の後半には降雨を逃れた圃場では刈り遅れ品が発生しており、それらの多くは中級〜低級品となりました。新穀の上級品の数量は例年よりも限られていますが、繰り越し在庫もあり今シーズン中の通年供給は可能と考えられます。降雨による作柄の悪化が懸念されていたウィートストローは、12月に入って降雨が少なくなったため大きな影響はありませんでした。南豪州、東豪州も収穫作業はほぼ終了しています。新穀の多くは上級品となっており、中級品および低級品は旧穀の繰り越し在庫も合わせて供給する体制になりそうです。また当地域では12月中旬に降雨があり、ストロー類には大きな影響が出ているようです。 新穀の船積みが本格化して以降、各サプライヤーの工場ではフル稼働が続いています。特に中国向けは旧正月前の入船を目指し大量に輸出されています。このため、1月中の出港分はオーダーが入りにくい状況が続いています。 産地価格は主力の産地や取扱する各グレードの集荷数量によって、一部サプライヤーは値下げに動いているところもあり、依然として流動的な部分があります。



全酪連オリジナル輸入乾草

クレイングラス

クレインは全酪連の登録商標です

クレイングラスの歴史

全酪連が独自に日本市場への応用を開発研究した輸入乾草です。

1970年代放牧用牧草としてアフリカから導入1990年代初頭カリフォルニア大学が研究開始1996年全酪連が試験輸入開始・商標登録1997年クレイングラスの栄養価値の探求1999年全酪連の全支所で全国供給開始

2000年以降 全酪連・サプライヤーで品質改善、栄養成分

の確立および米国作付面積の確保

現在 インペリアルバレーの作付面積は16,000エーカーに達する

2014年、日本の輸入量は7万トン/年を超える

コーネル大学による分析とCNCPSライブラリへの登録済

クレイングラスの特徴



カリフォルニア州南部 インペリアルバレー及びブライス周辺

- 茎が細くて葉が多く、柔らかくて嗜好性が良い。
- ② 消化性・嗜好性に優れ、移行期・泌乳初期、暑熱期の乳牛と哺育・育成 牛に適している。特に、繊維の消化性が非常に高いことが特徴(NDFは高 いがADFやリグニンが相対的に低い=可消化の繊維が多い証拠)。
- ① 他のイネ科牧草に比べて蛋白質が高く、乾物(DM)中10%以上あり、過去の平均CPは約12%(DM) (ただし、天候によって若干のバラつきあり)。
- **K(カリ)濃度は搾乳牛向きだが、CI(塩素)濃度も高くクローズアップ期にも給与可能。**

分析值 (DM)

2014年産

草 種	産地	СР	SIP /CP	ADF	NDF	Lignin /NDF	非繊維性 炭水化物 NFC	糖 Sugar	澱粉 Starch	NEL/ Mcal/kg	Ca	Р	Mg	K	Na	S	CI	DCAD mq/100g
クレイングラス	インペリアルバレー/ ブライス/ カリフォルニア州	13.5	41	36.9	61.5	5.5	17.4	6.7	1.3	1.15	0.40	0.17	0.38	2.45	0.08	0.23	1.40	-2.5
スーダングラス	インベリアルバレー/ カリフォルニア州	11.7	46	40.8	66.8	6	13.5	7.2	1.1	0.99	0.44	0.19	0.38	1.99	0.01	0.14	1.13	2.1
US 産チモシー	ワシントン州	11.6	52	41.4	65.8	6.1	15.7	8.4	0.9	1.04	0.31	0.20	0.16	1.90	0.0003	0.81	0.14	8.6
オーツヘイ	オーストラリア	9.7	59	33.8	55.8	4.9	28.4	14.3	3.8	1.3	0.19	0.15	0.14	1.48	0.44	0.12	1.32	4.8
ビートバルプ	米国中西部	7.6	12.9	26.9	39.1	7.6	43.2	9.3	1.5	1.52	0.99	0.08	0.27	0.46	0.04	0.37	0.03	-33

検体数:クレイングラス=25、スーダングラス=15、USチモシー=10、オーツへイ=15、ビート=25 (各項目の数値は、各検体における平均値を採用しております。)

お問い合わせ先



全国酪農業協同組合連合会

札 幌 支 所 011(241)0765 釧路事務所 0154(52)1232 帯広事務所 0155(37)6051 道北事務所 01654(2)2368 仙 台 支 所 022(221)5381 北東北事務所 019(688)7143 東 京 支 所 03(5931)8011 北関東事務所 027(310)7676 栃駐在員事務 028(689)2871 名古屋支所 052(209)5611 大阪支所 06(6305)4196 中四国事務所 086(231)1120 近畿駐在員事務所 0794(62)5441 三次駐在員事務所 0824(68)2133 福 岡 支 所 092(431)8111 南九州事務所 0986(62)0006

INFORMATION



価格状況 ★……強含み ▼……やや強含み →……横這い ★……やや弱含み ↓……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765 釧路事務所 TEL 0154-52-1232

带広事務所 TEL 0155-37-6051 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事 務	所	孟	=	種	相場(万円)	価格状況	管 內 状 況					
		育成牛	育成牛(10-12月令)		50~60	•	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計101.0%、累計で95.6%、苫小牧管内月計で102.6%、累計で99.4%の実績となっております。					
札幌智		初 妊 牛		牛	85~93	7	2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩、F1腹が中心となっています。1月開催の同地域の乳牛市場が強含みで動いたことや、春産みの初妊牛ですので、相場はやや強含み					
		経	産	牛	45~50	→	で推移するものと思われます。雌雄選別腹や成績付きの高能力牛も出てくる地域ですので、ご要望ください。					
			(10-	12月令)	58~69	7	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.0%、累計で98.8%、中標津管内月計で102.8%、累計で100.4%の実績となっております。2月の初妊牛動向といた					
釧路管		初	初 妊 牛		85~96	7	しまして、5月分娩が中心となります。春産みの牛が動く時期となったため、道内外ともに動きが活発化し1月の乳牛市場の相場は上昇しました。2月についてもその流れは続き相場は					
		経	産	牛	55~65	•	強含みで推移すると思われます。資源的には確保できる見込みで雌雄選別腹、F1腹ともにご希望に添える状況にあります。しかし、牛の動きが早まるため、早めの注文をお願いします。					
		育成牛	(10-	12月令)	55~65	7	帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.0%、累計で99.8%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩が中心となります。F1腹がメインとなっていま					
帯広管		初 妊 牛 88~95					すが、雌雄選別腹も確保できる見込みとなっています。1月の同地域の乳牛市場が前回と比べて、強含みで推移したことから、庭先購買もやや強含みとなることが予想されます。先月はやや弱含みとなった和牛受					
		経	産	牛	53~65	•	精卵移植牛ですが、こちらは乳牛市場での高騰があり、2月は強含みで推移し、牛なりがよく、受精卵の血統のそろったものであると、庭先購買価格は120万円を超えてくることが予想されます。					
		育成牛	(10-	12月令)	50~60	→	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.2%、累計で99.5%、北見管内では月計で102.6%、累計で99.8%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしま					
道北領		初	妊	牛	85~90	•	して、4~5月分娩がメインとなります。1月は資源不足と規模拡大農家の初妊牛導入、更新などの要因から市場価格の高騰が見られました。雌雄選別腹、F1腹ともに高値が維持されると思わ					
		経	産	牛	50~60	•	れます。F1腹につきましては出回り頭数は多いですが、雌雄選別腹については資源不足と需要の増加が要因となり価格の更なる高騰も懸念されます。					
		育成牛(10-12月令)			55~65	7	道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は102.8%、累計で99.6%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月腹となります。資源としては、4月~12月期における道内各市場の初妊牛出場頭数(合計)を見てみますと前年を上					
道内約	総括	初	妊	牛	86~96	7	回って推移しております。昨年末まで高止まりで推移しておりました初妊牛価格は、今年1月に入り春産み需要もあり再び上昇 に転じております。道内酪農家における経営環境が好調である事を背景に全道的に生乳生産意欲も旺盛となっており、主要な					
	経	産	牛	53~65	•	産地では前年を上回る生乳生産量となっております。資源は前年並みであるものの、需要が集中すると短期的には資源が不足し、初妊牛価格も更に上昇する事が予想されます。導入のご希望がございましたら、お早目のご注文をお願い致します。						

今月の表紙

今月の表紙は、「第8回酪農いきいきフォト コンテスト」(第46回全国発表大会にて開催) で応募頂いた作品「も~も~ どうじょ♡」 (福島県 矢内美希氏 撮影)です。

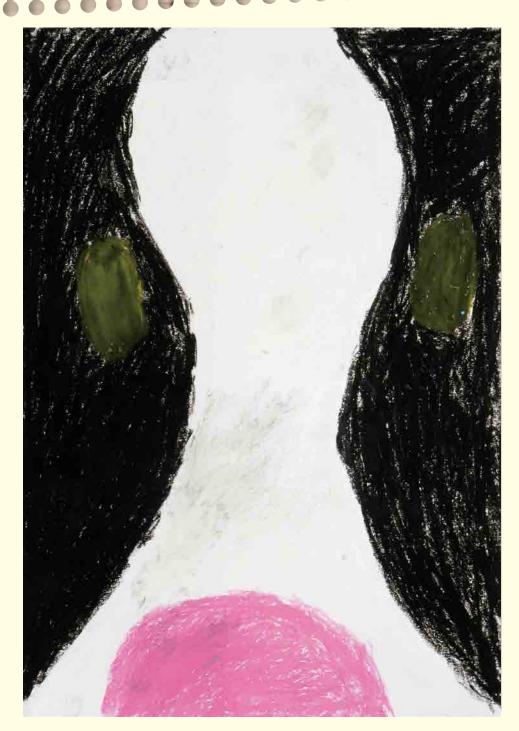


平成30年2月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 2月号 No.629

- ●編集·発行人 川辺昭司
- 発行 全国酪農業協同組合連合会 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号 TEL 03-5931-8003 http://www.zenrakuren.or.jp/

- ●1年でいちばん寒い今日この頃。 日本列島の南側を通過した「南岸 低気圧」の影響による大雪で各 地、大きな影響がでました。 東京都心でも積雪20cm。交通機関
 - がマヒしました。
- ●3月中旬から各地域酪農青年女性会 議酪農発表大会が開催されます。 皆さんお誘い合わせの上、ぜひご 参加ください。



ビックリ、モー 坂戸市立大家小学校(関甲信)3年 中村 晃太郎

のうこともギャ 賞作品紹介

今月の入賞作品は…

坂戸市立大家小学校 (関甲信)3年の中村 晃太郎さんの作品です。

牛さんのお顔をアップで描いた作品です。ここまで単純化された牛 さんの絵を見たことはありません。見る人も「もうビックリ」させ るインパクトの強い個性ある作品です。

